

Title: 「FWH記」



橋 武佐志  
人間として、写真家としてひとまわり成長する旅にしたいです。

## ● 最近のエントリー

- ☐ [ダラヴィー](#)  
(2010.06.21)
- ☐ [写真展](#)  
(2010.06.08)

## ● アーカイブ

- ☐ [2011年06月](#)
- ☐ [2011年01月](#)
- ☐ [2010年11月](#)
- ☐ [2010年10月](#)
- ☐ [2010年09月](#)
- ☐ [2010年08月](#)
- ☐ [2010年07月](#)
- ☐ [2010年06月](#)
- ☐ [2010年05月](#)
- ☐ [2010年04月](#)
- ☐ [2010年03月](#)

## ● 投稿カレンダー

## ● カテゴリー一覧

## ● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



「FWH記」 &gt; 2010年06月 アーカイブ

10.06.21

## ダラヴィー

[Tweet](#)[Check](#)

インドで単独の取材が始まりました。  
今アジアの貧困をテーマに撮影していて、インド：ムンバイには世界4大スラムのうちの1つであるダラヴィースラムがあります。  
そこでは100万人の人々が生活しているといわれています。  
インドではNPI卒業生のヴァレンさんにお世話になりながらダラヴィーを撮影をしています。  
カメラを持たないでロケハン（下見）に行ってきましたが、みんな初めて見る東洋人なのか私が訪れる場所には人だかりができるほどでした。  
通りを歩けば何十人、何百人（本当にその場にいる人々全員と言っても過言ではない）の視線が痛い程感じます。  
「何なんだアイツは？『何しに来たんだ？』  
最初はその迫力に圧倒されましたが、おそらく大多数の方がイメージしている「汚い、危ない、無秩序」というようなスラムの印象はまったく受けませんでした。  
（私もフィールドワークに出発するまでそのように思っていました。）  
むしろ彼らはとても友好的で「どこから来たの？」「今度いつくる？」「写真撮ってよ。」など声をかけてきます  
「JAPANから来た！」と言ってもみんなボカーンとしています。  
「JAPANはCHINA（中国）のどこだ？」と聞かれます。  
彼らにとってはアジア最東端にあるちっぽけな島国の日本人の認知度は低いでしょう。  
また学校、病院、警察署、レストラン、八百屋、魚屋、服屋等様々な店も存在しコミュニティとしてもしっかりと成り立っています。

しかしながらインフラ等の整備は決して良いとは言えません。  
ゴミ置き場で直接用を足すのでハエの量がとてつもなく多し、川は生活廃水や工業廃水を直接垂れ流すので緑色やどす黒い色をしています。ふと川を見るとポツポツと雨が降っているように見えますが、それらの廃水からガスが発生し泡をたてているのです。

現在ムンバイは雨期で雨の日が非常に多いです。撮影していて雨に降られるとあっという間に道が川のようになります。雨が降ると渋滞になるため定時連絡がある日にはいつも以上に時間を気にしなくてはなりません。  
また野良犬の存在も非常に厄介です。  
カンボジアのスラムでもそうでしたがスラムにはたくさんの野良犬がいます。（インドとカンボジアのスラムしか訪れていませんが）  
その中でも毛が落ち、皮膚がただれている犬がめっちゃくちゃ怖いです。  
人に慣れているのかどこでも横になっていて撮影中に犬にも神経を使わなければなりません。うっかりシッポを踏もうものならどうなることか。狂犬病を持っていないにしても何らかの菌は確実に持っているでしょう。  
それに見つきの鋭い犬もちらほらいて、ウーってうなりながら歩いてこられると、「マジやめて。ホントごめん。俺もしてないけど。」って気持ちになります。

今回は「曇りなき眼」でダラヴィーを撮影したいと思います。

カテゴリ：

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.06.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

「FWH記」 &gt; 2010年06月 アーカイブ

10.06.08

## 写真展

[Tweet](#)[Check](#)

久しぶりのブログ。  
ここまでの経過をざっくりと。





飯塚先生、鈴木先生と久しぶりにお会いし、スクーリングが行われました。  
先生に見せるまではスクーリングまでの期間2ヶ月間不安でしたが、今回のスクーリングで貴重なアドバイスを頂いたのでインド以降でしっかり写真に反映させたいとおもいます。  
そしてほとんど休む間もなく写真展の為にシンガポールに移動しました。



(準備の様子)

写真展会場はナショナルジオグラフィックストアシンガポールで展示されました。  
写真はすべてオリンパス様から提供していただいたμThough-6010で撮影  
写真用紙はすべてピクトリコ様から提供していただいたピクトリコプロ・フォトペーパーを使用



私たちは2日間しか会場にいたることができませんでしたが、大勢の方々が足を運んでくれました。

1日200~300人以上は来てくれたとおもいます。

ありがとうございました。

また、雑誌社や新聞社のインタビューも答えました。

...

初めての経験で何を言っても良いのやらなんやらかんやらでパニックになりました。  
お客さんとも自分の写真について説明したりとコミュニケーションとる機会がたくさんありました。

貴重な体験をさせて頂きました。

協力して下さったオリンパス・イメージングの松崎様をはじめアントニオ様、ピクトリコ様、会場を提供して下さったナショナルジオグラフィックストアシンガポール様、理事長・五十嵐先生をはじめ学校関係者の皆様、本当にありがとうございました。

明日からはいよいよインド!!!  
かなり暑いらしい・・・

カテゴリ：

post by 橋 武佐志 | 日時: 2010.06.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)